

麦類作況調査（11月25日現在の生育状況）

令和6年11月29日
岩手県農業研究センター
県北農業研究所

1. 気象概況

前回の生育調査（10月25日）以降の平均気温は、11月第2半旬に平年を下回り、他は平年並であった。日照時間は、平年並であった。降水量は、11月第1・第4半旬が平年並で、他はほぼなかった。

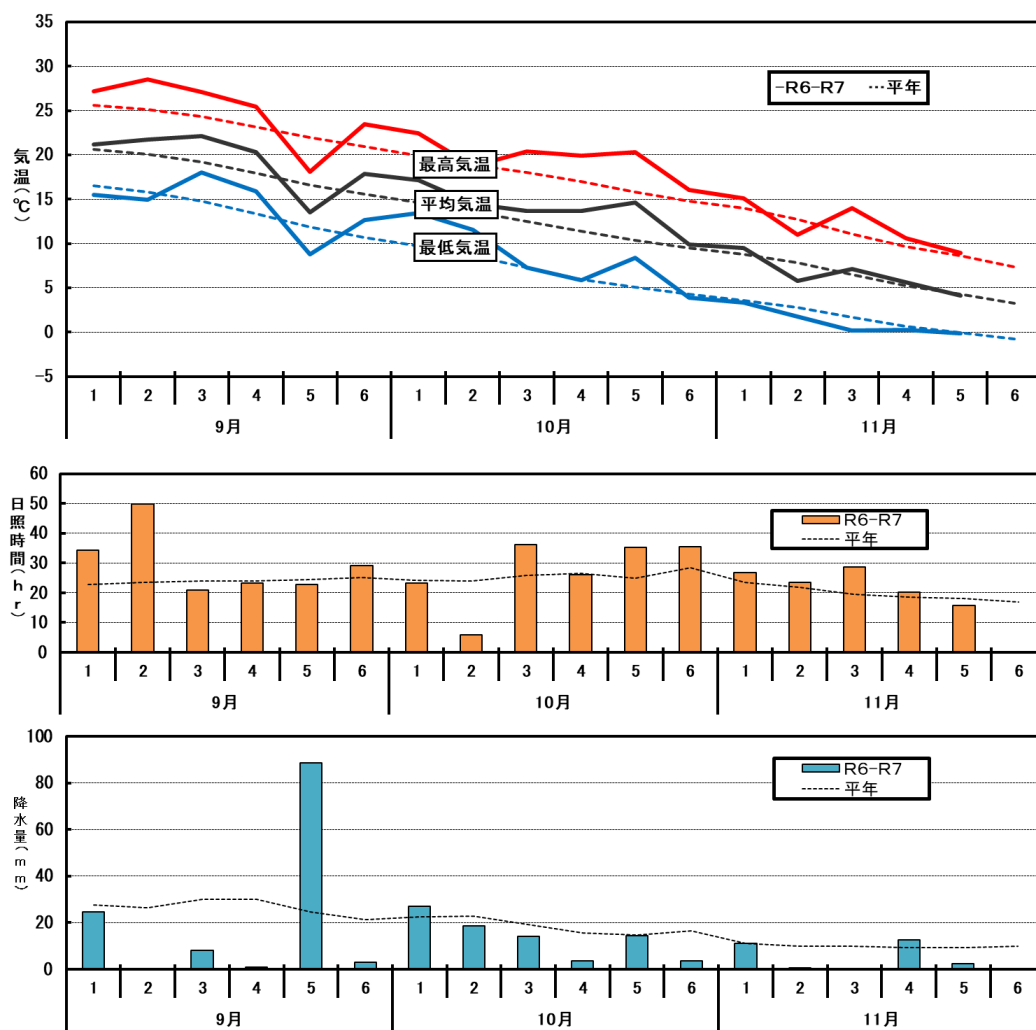


図1 半旬別気象経過図

【県北農業研究所気象観測値；平年値(H 9～R 5年の平均値)降水量は軽米アメダス】

2. 生育状況

草丈は、ナンブコムギが26.5cm（平年差+0.3cm）で平年並、ゆきちからが24.5cm（平年差-1.9cm）で平年をやや下回り、ナンブキラリは26.6cm（前年差-9.2cm）で昨年を大きく下回った。

葉数は、ナンブコムギが6.3（平年差-1.0）、ゆきちからが6.6（平年差-0.5）でどちらも平年を下回り、ナンブキラリは6.7（前年比-1.0）で昨年を下回った。

m²あたりの茎数は、ナンブコムギが1282.5本/m²（平年比68%）で平年を大きく下回り、ゆきちからが1686.8本/m²（平年88%）で平年を下回り、ナンブキラリは1591.0本/m²（前年比73%）で昨年を大きく下回った。

地上部乾物重は、ナンブコムギが1.09g/株（平年比97%）で平年並、ゆきちからが0.87g/株（平年比92%）で平年を下回り、ナンブキラリは0.88g/株（前年比61%）で昨年を大きく下回った。

播種日が平年より5日遅く、気温や降水量も平年を大きく上回ることがなかったために生育が遅れたものと考えられる。特に、気象条件が良かった昨年と比較しているナンブキラリは差が顕著にみられた。

表1 生育状況

品 種	播種 年次 (令和)	播種25日後 (10/25)						播種56日後 (11/25)					
		株数	草丈	葉数	茎数 ^{※1}		地上部 乾物重	株数	草丈	葉数	茎数		地上部 乾物重
		(株/m ²)	(cm)	(葉)	(本/株)	(本/m ²)	(g/株)	(株/m ²)	(cm)		(本/株)	(本/m ²)	(g/株)
ナンブ コムギ	R6 平年 ^{※2} 差・比	150.0 194.0 77%	21.3 19.9 1.4	4.3 4.4 -0.1	2.8 3.2 -0.4	412.5 600.7 69%	0.18 0.18 99%	150.0 194.0 77%	26.5 26.3 0.3	6.3 7.3 -1.0	8.6 10.1 -1.6	1282.5 1891.1 68%	1.09 1.13 97%
ゆき ちから	R6 平年 ^{※2} 差・比	195.0 205.0 95%	19.5 19.4 0.2	4.2 4.3 -0.1	2.8 3.7 -0.9	546.0 744.8 73%	0.12 0.16 74%	195.0 205.2 95%	24.5 26.4 -1.9	6.6 7.0 -0.5	8.7 9.4 -0.8	1686.8 1917.3 88%	0.87 0.95 92%
ナンブ キラリ (参考)	R6 R5 ^{※3} 差・比	185.0 186.7 99%	20.7 21.9 -1.2	4.2 4.6 -0.4	3.5 3.4 0.1	638.3 625.3 102%	0.14 0.19 76%	185.0 186.7 99%	26.6 35.8 -9.2	6.7 7.7 -1.0	8.6 11.6 -3.0	1591.0 2165.3 73%	0.88 1.44 61%

※1 m²あたり株数は、株当たり茎数を四捨五入した関係上、この表の「株数」と「株当たり本数」を使った乗算の結果とは一致しない。

※2 平年値は、令和元年～令和5年播種の5年間平均値である。

※3 ナンブキラリは令和5年から作付を開始したため平年値を算出できない関係上、令和5年のデータと比較した。



図2 小麦の生育状況（11/25撮影）

3. 耕種概要

播種日：令和6年9月30日

播種量：9 kg/10a（設定値）

播種様式：手播き（条間30cm）

施肥量：N-P₂O₅-K₂O=6.0-11.3-13.5kg/10a

供試品種：ナンプコムギ、ゆきちから

雑草防除：ゴーゴーサン乳剤（9月30日播種後）

病害防除：フロンスайдSC（9月30日播種前）

種子消毒：トリフミン水和剤（9月17日）

麦踏み：11月25日